

# 明日香をさぐる

## 「自然災害からみた都の姿」

今回は発掘調査において検出される自然災害の痕跡について紹介したいと思います。

日々行われている発掘調査では当時の人々の生活ぶりを示す遺構とともに、自然災害の痕跡も検出されています。

近年は温暖化に伴う豪雨や洪水、地震など私たちの身の回りで自然災害が頻発しています。1995年の阪神・淡路大震災から今年で30年を迎えました。私たちが住んでいる地域の災害リスクは、市町村から発行されているハザードマップで確認することができます。

発掘調査では液状化に伴う噴砂や地割れ、地滑り痕などが検出されています。特に地震災害の痕跡は地上にある古墳など土で造られた構造物に顕著に残されています。

推古天皇の時代にもマグニチュード7クラス、1361年の正平の南海地震ではマグニチュード8クラスの地震が飛鳥地域を襲っています。村内では酒船石遺跡（白鳳南海地震）をはじめ、カヅマヤマ古墳（正平南海地震）やマルコ山古墳、牽牛子塚古墳や高松塚古墳、さらに都塚古墳でも検出されています。また、隣接する橿原市でも藤原宮跡や菖蒲池古墳で確認されています。

近畿地方の巨大地震では和歌山県沖の南海トラフで発生する東南海・南海地震が90年から150年周期で発生するとされています。現在は、昭和南海地震の発生

から80年が経過し、日頃から地震など自然災害に対する備えが求められています。

都や御陵のある奈良県は災害が少ない地域とされていますが、遺跡に刻まれた災害の痕跡からは、奈良盆地にも大きな被害をもたらしたことが明らかになっています。都には技術や人が備わっているからこそ、被災後の復旧が速く、そこから生まれる安全神話は逆に私たちへの自然災害に対する備えへの警鐘を鳴らしています。

（明日香村教育委員会文化財課）

### 国宝キトラ古墳壁画公開のお知らせ(天井・天文図)

#### ◆国宝キトラ古墳壁画の公開(第36回)

- 【期間】** 7月26日(土)～8月24日(日)
- 【場所】** 「キトラ古墳壁画体験館四神の館」内  
キトラ古墳壁画保存管理施設  
(国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区内)
- 【問合せ】** 国宝キトラ古墳壁画公開(第36回)事務局  
☎070-1301-6315

#### 【申し込み】

- WEB 文化庁HPで「キトラ古墳」と検索「国宝キトラ古墳壁画公開(第36回)について」



文化庁HP

- 往復はがき 〒970-8026  
福島県いわき市平字菱川町4-2  
デロイトトーマツテレワークセンター(株)

※事前にインターネットまたは往復はがきによる応募が必要です。



崩壊したカヅマヤマ古墳の石室